

令和2年度 下水道事業の概要

主な業務状況

- ・ 汚水処理区域内人口（下水道に接続可能な人口）は364,078人で、前年度に比べ1,142人減少し、水洗化人口（下水道に接続済みの人口）は 353,451人で、前年度に比べ 186人減少しました。
- ・ 人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は97.8%で、前年度より 0.1ポイント上昇しました。
- ・ 有収汚水量（使用料を賦課した汚水量）は37,735,358^mで、水需要の増加に伴い、前年度に比べ 355,628^m増加しました。

項 目	令和2年度	令和元年度	増 減	対前年比
汚水処理区域内人口（人）	364,078	365,220	△ 1,142	99.7%
水洗化人口（人）	353,451	353,637	△ 186	99.9%
人口普及率（%）	97.8	97.7	0.1	—
有収汚水量（ ^m ）	37,735,358	37,380,090	355,268	101.0%

※

※ 水洗化人口については、一世帯あたりの人数を見直して算出しました。

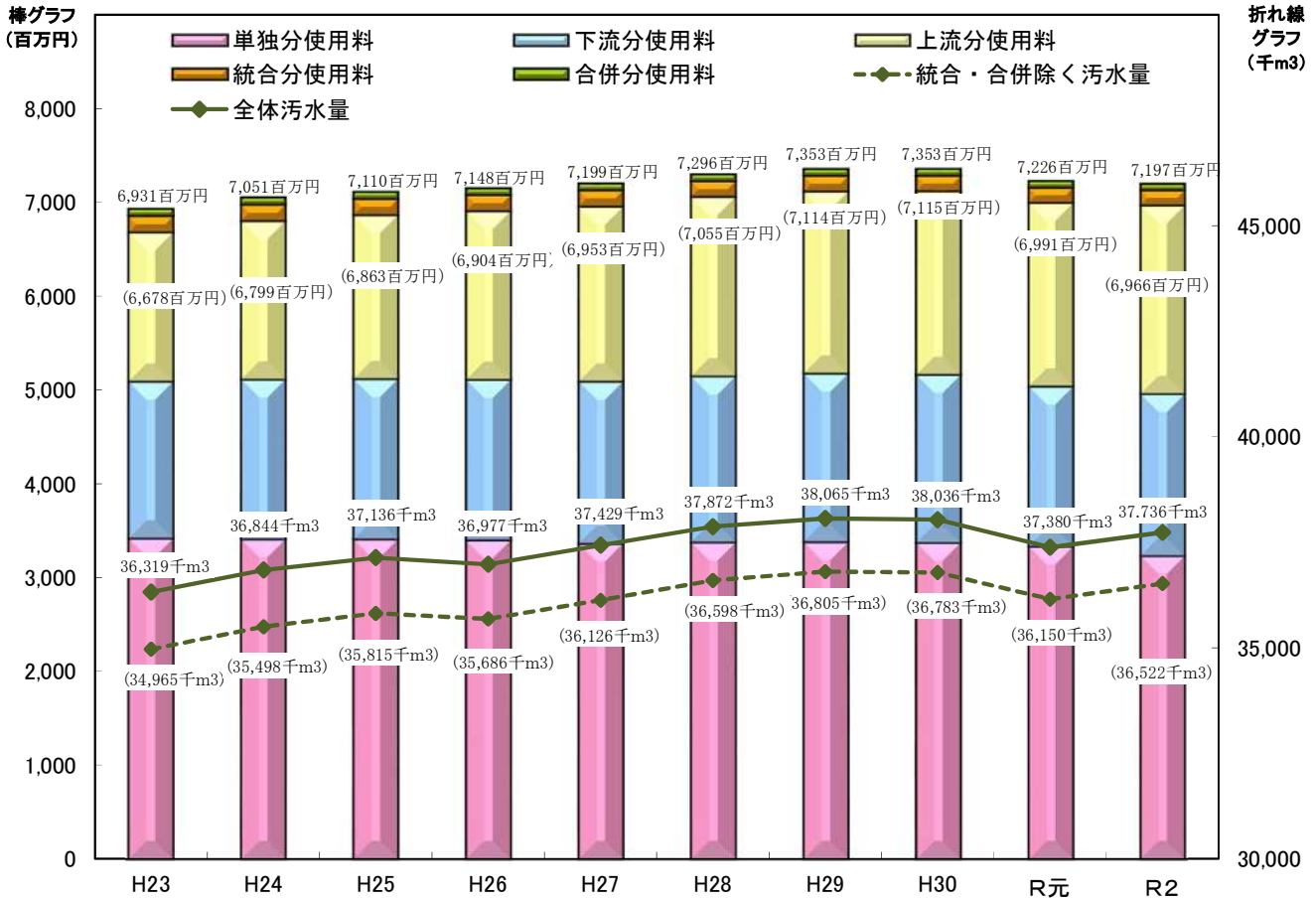
下水道使用料の推移

令和2年度の下水道使用料及び汚水量は、前年度と比べて下水道使用料は減少となったが、汚水量は増加となった。

下水道使用料収入は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済が停滞したことから、単価の高い業務用が落ち込み約71億9,700万円となり、前年度に比べ約2,900万円の減収となった。

汚水量は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ステイホーム、手洗いの推奨等により、一般家庭を中心に約35万5,000m³の増加となった。

年度別 下水道使用料・汚水排除量推移



下水道使用料推移 (税抜き)

単位：百万円

年度	公共下水道			合計 (A)	対前年増減	汚水量 (千m ³)	統合分 (b1) 農集排 小規模 戸無	合併分 (b2) 信州新 町条	汚水量 (千m ³)	総合計	
	単独	流域下流	流域上流							使用料 (A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H23	3,417	1,672	1,589	6,678	23	34,965	177	76	1,354	6,931	21
H24	3,408	1,703	1,688	6,799	121	35,498	175	77	1,346	7,051	120
H25	3,408	1,709	1,746	6,863	64	35,815	172	75	1,321	7,110	59
H26	3,397	1,711	1,796	6,904	41	35,686	171	73	1,291	7,148	38
H27	3,362	1,728	1,863	6,953	49	36,126	173	73	1,303	7,199	51
H28	3,375	1,770	1,911	7,055	102	36,598	167	74	1,274	7,296	97
H29	3,378	1,796	1,940	7,114	59	36,805	166	73	1,260	7,353	57
H30	3,371	1,791	1,953	7,115	1	36,783	166	72	1,253	7,353	0
R元	3,330	1,707	1,954	6,991	△124	36,150	164	71	1,230	7,226	△127
R2	3,231	1,728	2,007	6,966	△25	36,522	161	70	1,214	7,197	△29

※ 特定環境長野分については、各処理区に加算